

葛飾フィルハーモニー管弦楽団

第52回定期演奏会

かつしかシンフォニーヒルズ/モーツァルトホール

2016年12月11日(日)13:20開場 / 14:00開演

渡辺浦人

交響組曲「野人」

コダーイ

ハンガリー民謡

「孔雀」による変奏曲

フランク

交響曲二短調

指揮 ダグラス・ボストック

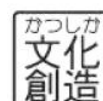


全席指定/入場料 : 前売 1,000 円 (シンフォニークラブ会員価格 900 円)
当日 1,500 円

未就学児の入場はご遠慮いただいております。車椅子利用希望の方はチケット予約時にお申込ください。

【チケット取扱】 電話予約・窓口購入 かつしかシンフォニーヒルズ・チケットセンター : 03-5670-2233 (葛飾区立石6-33-1)
かめありリリオホール・チケットセンター : 03-5680-3333 (葛飾区亀有3-26-1)
受付時間 10:00~19:00 休館日を除く毎日
インターネット予約・購入 葛飾区文化施設管理者ホームページ: <http://www.k-mil.gr.jp/>
【取扱プレイガイド】 イープラス <http://eplus.jp/>

【お問い合わせ】 団員: 090-7837-3681 (携帯) 葛飾フィルホームページ: <http://katsuphil.org/>
かつしかシンフォニーヒルズ: 03-5670-2233



主催/葛飾フィルハーモニー管弦楽団 共催/葛飾区文化施設指定管理者 後援/葛飾区・葛飾区教育委員会

指揮 ダグラス・ボストック

現在スイスのアールガウ交響楽団の首席指揮者として、また1992年よりチェコ・チェンバー・フィルハーモニックの首席客演指揮者として、ヨーロッパ、アメリカ、日本で幅広く活躍している。2000年から10年間にわたって東京佼成ウィンドオーケストラの常任指揮者、その後首席客演指揮者も務め、2010年のヨーロッパ・ツアーも大成功に導いた。オペラの分野でも活動の幅を広げ、スイスのハルウィル・オペラ音楽祭の音楽監督も務めている。これまでチェコのカールスバッド響音楽監督兼常任指揮者、ミュンヘン響首席客演指揮者、南西ドイツ・フィル音楽監督を歴任。幅広いレパートリーの中でもイギリス、チェコ、北欧の音楽の解釈は特別な評価を受けている。また、ウィーン古典派への新鮮かつ歴史的なアプローチも批評家、諸オーケストラ、聴衆に賞賛されている。これまでBBC響、BBCフィル、BBCウェールズ響、ロンドン・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル、ロイヤル・フィル、ロイヤル・スコティッシュ管などイギリスの楽団、プラハ響、プラハ放送響、ブルノ国立管、シュトゥットガルト室内管、北ドイツ・フィルなどヨーロッパ主要国のほか、アメリカ、カナダ、メキシコなどへも活発に指揮活動を展開。後進の育成にも力を注ぎ、英国王立北音楽院、デンマーク王立アカデミー、チャーリッヒ音楽学校など、ヨーロッパ、アジア各地の大学において教鞭をとっている。2012年4月より東京藝術大学の招聘教授。

葛飾フィルハーモニー管弦楽団

1990年、かつしかシンフォニーヒルズの開館を機に、澤和樹氏（東京藝術大学教授）をミュージックアドバイザー（顧問）に迎えて設立された区内唯一のアマチュアオーケストラ。葛飾区および葛飾区文化施設指定管理者の支援を受け、澤和樹氏の他、超一流の演奏家達による指導の下、毎週木曜日にシンフォニーヒルズで練習を重ね、年2回の定期演奏会の他、区内施設・学校での音楽教室やジョイントコンサートなど、「わが町のオーケストラ」として幅広い活動を行っている。



(その他の活動) 金町中学校ジョイントコンサート(2005年10月、2006年9月)/葛飾区民ミュージカルでの演奏(2007年2月、2009年2月・3月)/よくわかるオーケストラ(2008年以降、年1回)/葛飾クワルテット(2010年以降、年2回)/葛飾区役所ロビーコンサート(2013年以降、年3回程度)/葛飾区非核平和コンサート(2013年8月)など

最近の定期演奏会

第51回(2016年6月)指揮:横山 奏
曲目:ドヴォルザーク/交響曲第8番ほか
第50回(2015年12月)指揮:澤和樹
曲目:ベートーヴェン/交響曲第9番ほか
第49回(2015年6月)指揮:渡邊一正
ヴァイオリン独奏:宮川正雪
チェロ独奏:高麗正史
曲目:チャイコフスキー/交響曲第4番ほか
第48回(2014年12月)
指揮:ダグラス・ボストック
ピアノ独奏:江口 玲
曲目:ニールセン/交響曲第3番ほか
第47回(2014年7月)指揮:石崎真弥奈
曲目:ベルリオーズ/幻想交響曲ほか

曲目紹介

《渡辺浦人/交響組曲「野人」》

太平洋戦争開戦直前に作曲された渡辺浦人の代表作。日本人が古来より持つ力強い民族性を大胆に表現し、作曲者自身による吹奏楽編曲版もある。

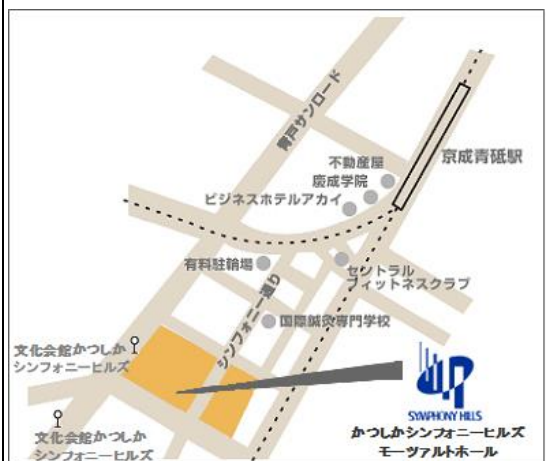
《コダーイ/ハンガリー民謡「孔雀」による変奏曲》

ハンガリー民謡の蒐集及び研究を行い、それらを作品に積極的に取り入れることを作風としたコダーイの傑作。曲の冒頭で低弦楽器が提示する「飛べよ、くじゃく」の旋律をテーマとして、華麗な16の変奏が繰り広げられる。この民謡は自由に対する情熱を歌っており、コダーイはこの旋律を採用することで、作曲当時、母国で繰り広げられていた政権による抑圧に対する抗議の意を表したと言われる。

《フランク/交響曲二短調》

現存するフランク唯一の交響曲であり、19世紀のフランスで作曲された交響曲の代表曲でもある。3楽章構成であり、主要主題が全楽章をつらぬく「循環形式」がとられている。フランク自身が教会のオルガニストであったことから、オルガンを思わせる音楽も多く、ドイツ風の重厚さにあふれている。第1楽章冒頭で弦楽器により主要主題が提示され発展していく。第2楽章は緩徐楽章であるが、中間部はスケルツォとなる。第3楽章はそれまでに出了主題が複雑に展開され、雄大なクライマックスを形成する。

かつしかシンフォニーヒルズへのアクセス



京成バス(新小52・53系): JR新小岩駅⇔JR亀有駅で「文化会館かつしかシンフォニーヒルズ」下車
※混雑が予想されますので、お車でのご来場はお控えください。